

給与所得者異動届書の記載の仕方

給与支払報告書に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

市町村長殿			給与支払義務者	所在地	年 度						1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度		
令和 年 月 日提出											特別徴収義務者指定番号		
				フリガナ							宛名番号		
				氏名又は名称							担当者連絡先	所属	氏名
			個人番号 又は法人番号	※①						一個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載	先電話	内線()	
給与所得者	フリガナ				(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由			異動後の未徴収税額の徴収方法	
	氏名								月から	月から	年	1. 退職	職勤欠け
	生年月日	年 月 日							月まで	月まで	月	2. 転職・長	2. 一括徴収
	個人番号										月	3. 休職・長	3. 普通徴収 (本人納付)
	受給者番号										日	4. 死亡	4. 支払少額・不定期解散
	1月1日現在の住所											5. 合併・解散	6. その他の事由・理由
異動後の住所	※②				円	円	円						

給与支払者（特別徴収義務者）の情報を記載してください。特別徴収税額通知書でお知らせしました特別徴収指定番号、宛名番号を記載してください。

給与支払者の情報を記載してください。
税額については以下を記載してください。

- (ア) 特別徴収税額通知書に記載された年税額
- (イ) 徴収していただいた月割額の合計額
- (ウ) 上記の(ア)から(イ)を差し引いた残額

1. 特別徴収継続の場合

特別徴収義務者指定期番号	(新規)	法人番号	所	新しい勤務先へは、月割額_____円を 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。		
新特別徴収義務者 勤務先	所在地	※③	所属			
	フリガナ		氏名			
	氏名又は名称		担当者連絡先	受給者番号	納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	右から番号を1. 必要 2. 不要 記入
			電話	内線()		

転勤などで特別徴収を継続する場合、記載してください。新しい勤務先で徴収を開始する月の月割額と開始月の月割額を忘れずに記載してください。

2. 一括徴収の場合

理由	1. 異動が令和 年12月31日まで、一括徴収の申出があつたため 2. 異動が令和 年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため 右から番号を記入	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は、 ※④ 月分(翌月10日納入期限分) 納入します。		
		月 E	円			

一括徴収を希望する場合、記載してください。

3. 普通徴収の場合

理由	1. 異動が令和 年12月31日まで、一括徴収の申出がないため 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため 右から番号を記入	※市町村記入欄
----	---	---------

※①: 給与支払者の法人番号(個人番号)、給与所得者の個人番号を記載してください。

※②: 令和8年1月1日現在の住所に変更がある場合、新しい住所を記載してください。

※③: 転勤などで勤務先を変更する場合、新しい勤務先の所在地・名称を記載してください。

※④: 一括徴収予定額を何月分で納入するか記載してください。

納入する際はその月の徴収額と合算して納入してください。(ウ)と同額